

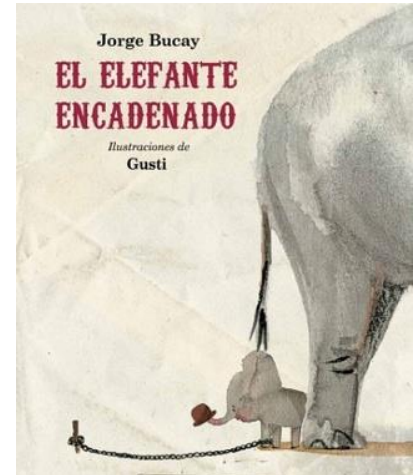


くさりにつながれた象の話

右の絵は、スペインで出版されたある絵本の表紙です。

サーカスの象は、すぐにでもぬけそうな小さな杭につながれているのだが、象はそれを抜こうともせずにつながれたままにいる。どうしてだろうか？

それは、小さい頃からずっと鎖でつながれ、自由を奪われている状態が続き、「ここから逃れることはできない」と思い込んでしまう。象は大きくなり、力も強くなっているはずなのに、その力を使って「引き抜いてみよう」とチャレンジすることもなくなる。というお話です。



このことは、心理学者であるマーティン・セリグマン（左の写真）が提唱した考え方で、「学習性無力感（英語：Learned helplessness）」というそうです。「うまくいかないこと」を学習してしまうのです。

いくつか検証実験が報告されています。例えば、犬に電気ショックを与えると最初は回避しようとするが、続けていくと次第に「ただ耐える」ようになってしまいます。肉食のカマスと餌となる小魚が同じ水槽に入っているが、最初は小魚を食べようとアクリル板に体当たりするが、やがてあきらめてしまい、アクリル板をはずしても食べに行かなかった。

私たちの身近でも、経験的に似たようなことがあります。「どうせ…」と感じる瞬間です。努力が一向に報われなかったり、他人から否定され続けたりすれば、モチベーションが下がるのも無理はありません。

しかし、カマスの実験には続きがあります。小魚を食べることをあきらめてしまった水槽に、新しいカマスを追加します。新しいカマスは勢いよく小魚を食べます。それを目にした意欲を失ったカマスもそれに触発されるように小魚を食べに行くというのです。

あきらめていたことが、本当に「今でもできないことなのか？」問い直してみたくくなりました。

2・3・4月の主な教育活動

2月	曜	学校行事等	給	部
1	木	高林カレッジ-来校	○	○
6	火	私立高校入試3年生給食なし	○	○
7	水	私立高校入試 読み聞かせ	○	/
14	水	技術・家庭テスト	○	/
15	木	定着度テストⅢ 	○	○
16	金	私立高校合格発表	○	○
19	月	新入生用品販売公立高校願書受付~21日	○	/
21	水	PTA新旧引継ぎ会	○	/
26	月	午前中授業(給食あり)	○	/
29	木	専門委員会(最終) 高林カレッジ-来校	○	○
3月				
5	火	公立高校入試 3年生給食なし通学区会	○	○
6	水	公立高校入試 3年生給食なし	○	○
7	木	3送会 高林カレッジ-来校	○	○
8	金	学年会計・積立金監査 	○	○
11	月	PTA会計監査 部活動部長会	○	×
14	木	公立高校合格発表 高林カレッジ-来校	○	○
18	月	卒業式準備・総練習 午前授業、給食なし	×	×
19	火	修了式 卒業証書授与式 給食なし	×	×
4月				
5	金	新任式・始業式AM・入学式PM	/	/
10	水	給食開始	○	/
11	木	避難訓練 専門委員会 清掃開始 PTA運営委員会①	○	○
12	金	部活動見学①	○	○
15	月	2年生参観・懇談会	○	/
16	火	部活動見学②	○	○
17	水	3年生参観・懇談会 	○	/
18	木	仮入部①	○	○
19	金	仮入部②	○	○
23	火	1年生参観・懇談会 2年生学年運営 3年生修学旅行 	○	×
24	水	1年生学年運営 2年生学年運営 3年生修学旅行 	○	×
25	木	1年生防災学習 2年生宿泊研修 3年生修学旅行 	○	×
26	金	2年生宿泊研修 3年生代休	○	×
30	火	仮入部③	○	○

※1月31日現在の計画です。今後変更の可能性もあります。

1年生 家庭教育について考えよう

1月24日(水)に、1年生授業参観懇談会がありました。授業参観では、今年1年で成長した姿を保護者の皆さんに御参観いただきました。懇談会では、掛川市家庭教育サポートチームの方にお越しいただき、「子どもを

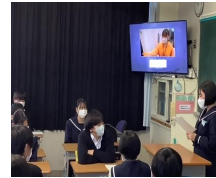
伸ばすほめ方や叱り方」「家での過ごし方」について、保護者同士話しをしたり、サポートチームの方からのお話を聞いたりしました。



2年生 立志の会・進路学習会

1月25日(木)に、2年生の立志の会、進路学習会が行われました。2年生は、2学期に職業体験学習を行いこの学習を機に、「中学生の今だからこそ、こんなことに力を入れたい。」「将来こんな職業に就きたい。」「こんな職業懂れているんだよな。」等、自分の生き方について思いを馳せる学習を進めてきました。立志の会では、今抱えている自分の人生について一人ひとり友達とお家の方の前で発表しました。

また、進路学習会では、学区にある掛川工業高等学校の先生にお越しいただき、高等学校での学び等について教えていただきました。受験を間近に控えた3年生だけでなく、2年生もまた自分の生き方について真剣に考えることのできた時間となりました。



能登半島地震募金活動

1月29日(月)から31日(水)までの3日間、福祉委員会の企画で能登半島地震の募金活動を行いました。

朝の寒い中、福祉委員は昇降口前に募金箱を持って大きな声で「募金お願いします」と呼び掛けをしていました。朝の生徒会放送で生徒会長町田さんから、「今、被災地では家に戻りたくても戻れない人、仕事を再開したくてもできない人、電気などのライフラインが戻っておらず、たくさんの方が様々な理由で困難さを感じ、助けを求めています。私たちが直接現地に行って支援や救助の活動をするのは少し難しいかもしれませんが、しかし、何もできないというわけでもありません。みなさんの募金で支えられる人が必ずいます。1人でも多く募金活動に御協力してもらえるとありがたいです。」また、生徒会本部安齋さんからは、「能登半島地震で被害を受けた中学生の中には、勉強できる環境になく、家族と離れて集団避難をして勉強をし続けている中学生がいます。私たちにできることを、みんなで協力して行えば、大きな力になります。」と募金活動に向けてメッセージがありました。東中生の思いを募金という活動をとおして、被災された方に届けていけたらいいですね。

